

〔アンケートのお礼・今後のとりくみについて〕

部活動アンケートに173名の方にご協力いただきました。お忙しい中、アンケートにご協力いただきましたことを、心より感謝いたします。

アンケート結果から、部活動顧問の長時間労働と精神的な負担である実態、早急な対策が必要であることが明らかになりました。すぐにでも部活動から教職員を解放することや学校から切り離すことが必要だとする声も少なくありません。負担軽減の具体策として、部活顧問の強制をさせない、部活活動日を減らす、外部指導員、地域移行などを希望する声が多く上げられました。

部活動の地域移行に関して、軽減は必要だが必ずしも地域移行を全面的に賛成するわけではない、とする意見が多いこともわかりました。一番多いのは、「外部指導員の積極的活用」7割超、「顧問が必ず試合を引率する形態をとらず、外部指導員や地域クラブの指導者も引率可能とする」声が7割近くありました。地域移行（休日）は5割でした。

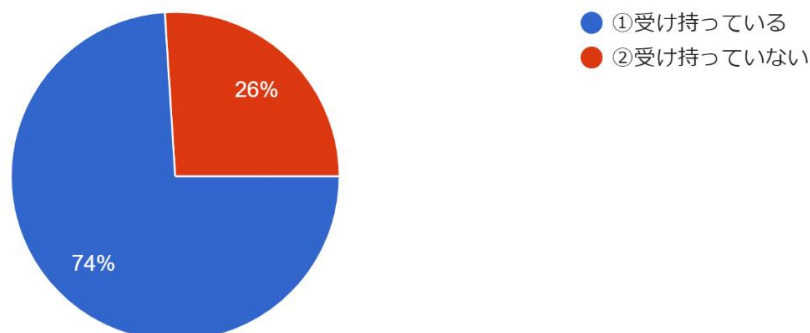
地域移行することの懸念としては、子どもの安全や保護者金銭的負担の懸念など複数あり、それが解決に至らなければ全面的に賛成できないという意見が多くありました。

都教組はこれらの声をもとに、都や区市町村に対して、学校における実態や要望等を十分把握して、部活動の地域移行を拙速に進めず、平日の部活に関わる殊勤務手当の予算化、外部指導員の都の補助の充実、小中学校への大会引率を可能とする部活動指導員の採用、上部大会などの在り方の検討等を求めています。

〔アンケート結果〕

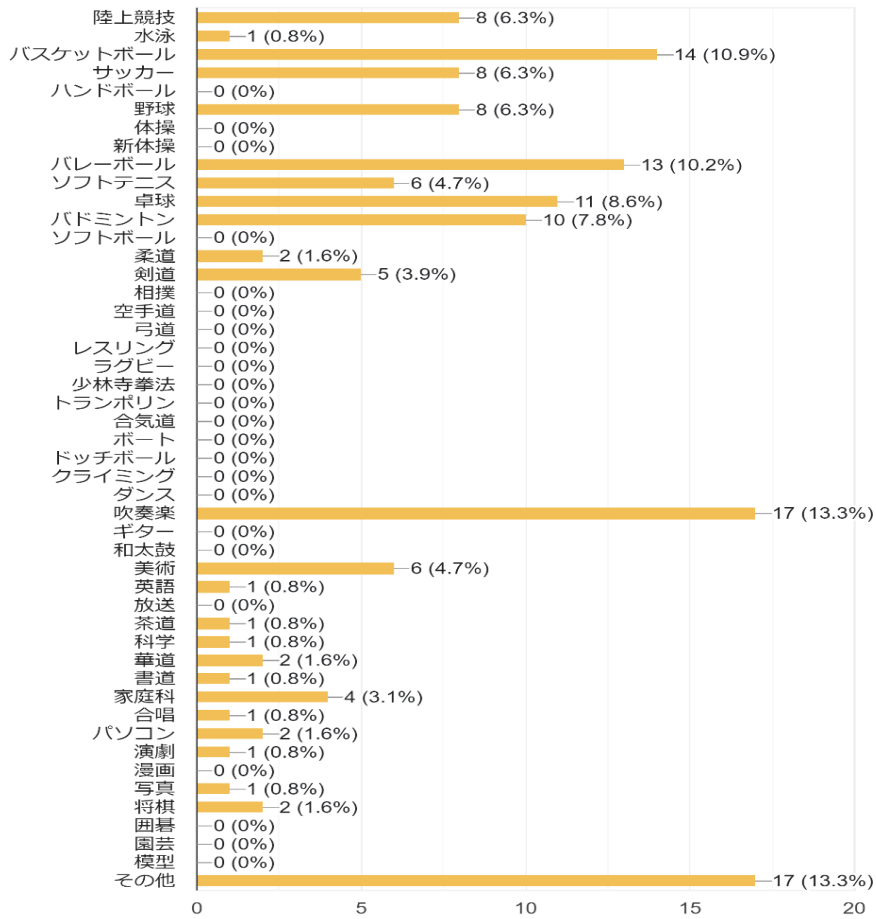
1. 現在あなたは部活動の顧問又は副顧問を受けもっていますか(必須)

173件の回答



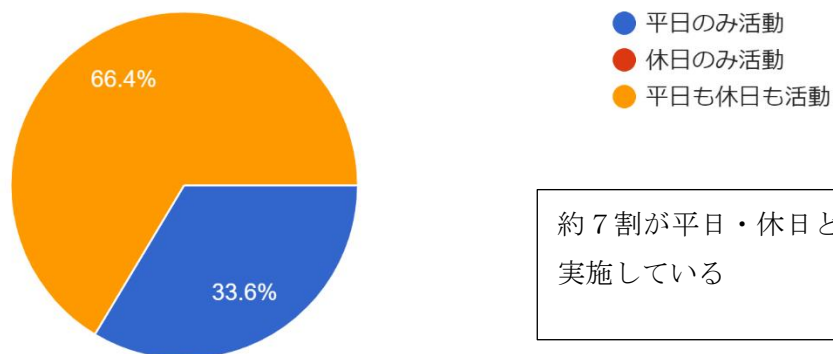
ア. 現在指導している部活動は何ですか（複数回答可）【必須】

128 件の回答



イ. 部活動の活動状況について

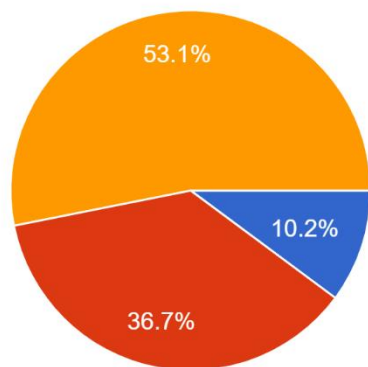
128 件の回答



約7割が平日・休日とも部活動を実施している

ウ. 平日の活動状況について

128 件の回答

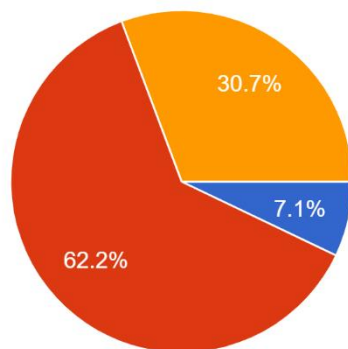


- 週1
- 週2~3回
- 週4~5回

5割以上が週4、5日行っている

エ. 平日の部活動の活動時間はどれくらいですか

127 件の回答

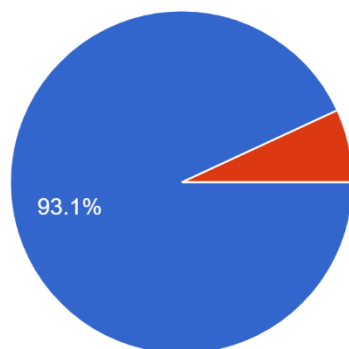


- 1時間未満
- 1時間~2時間
- 2時間以上

平日に3割が2時間以上活動を行っている

オ. 休日（土・日）の活動日数は何日ですか。

87 件の回答

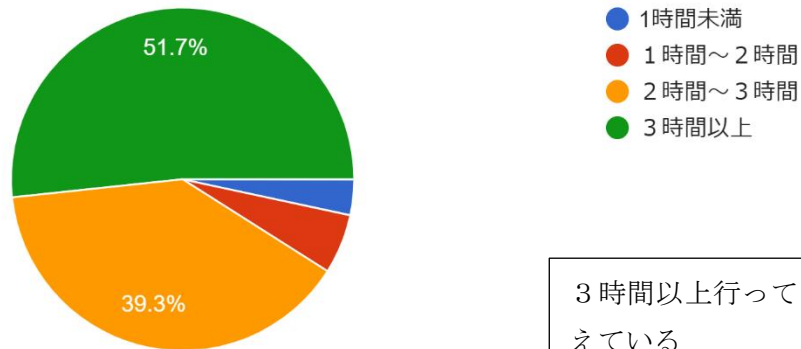


- 週1日
- 週2日

9割が土日どちらかを休みにしているが、両日行っている部活動もある

カ. 休日の部活動の活動時間はどれくらいですか。

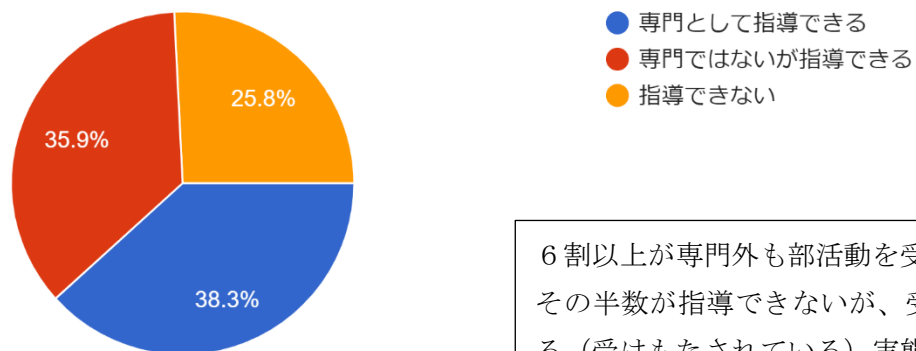
89 件の回答



3時間以上行ってる部活動が過半数を超えている

キ. 現在担当している部の指導について

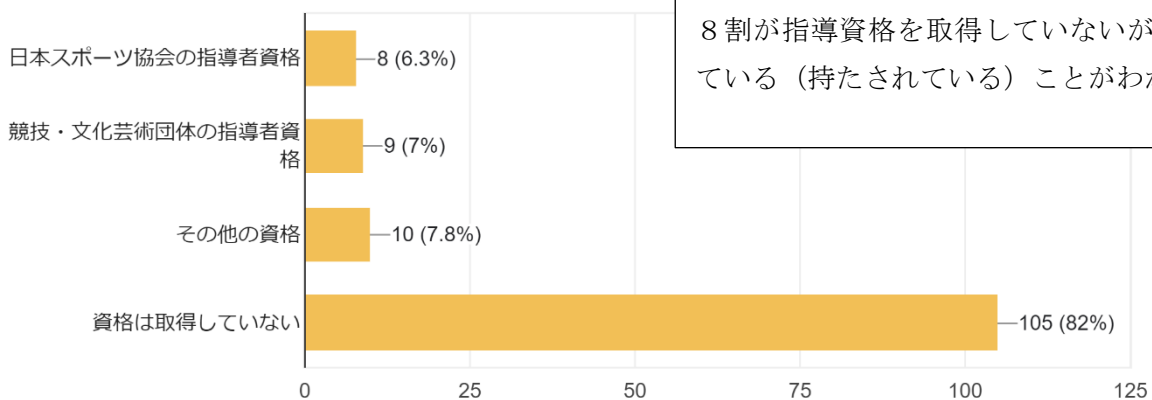
128 件の回答



6割以上が専門外も部活動を受け持ち、その半数が指導できないが、受け持っている（受けもたされている）実態が見える

ク. 何らかの指導資格を取得して指導していますか。（複数選択可）

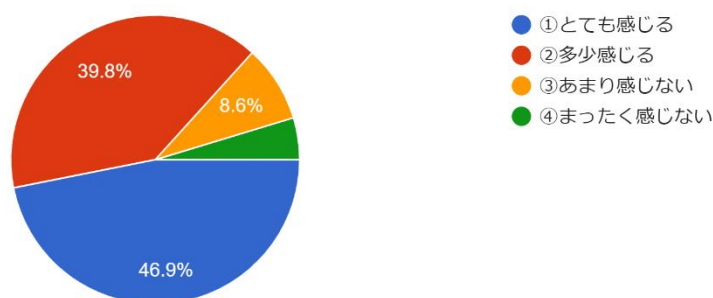
128 件の回答



8割が指導資格を取得していないが顧問を受け持っている（持たされている）ことがわかる。

ケ. 部活動の指導に負担を感じますか【必須】

128 件の回答

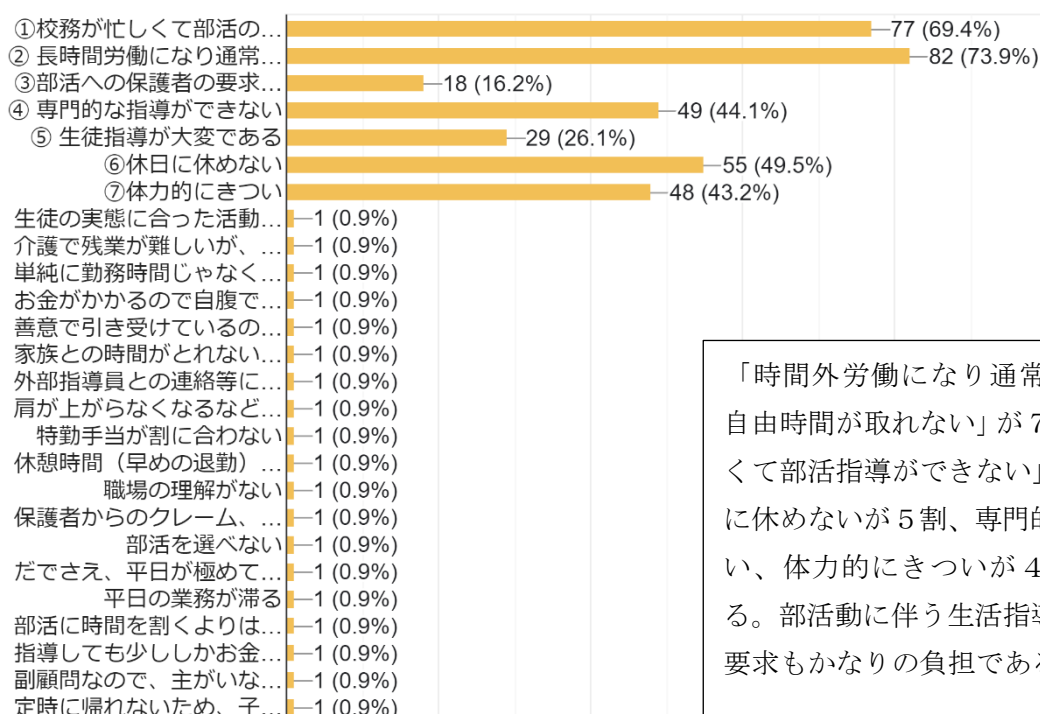


「とても」が約半数、「とてもと多少感じる」を合わせると9割近くに上る。

コ. ケの部活動の指導に負担を感じますか、で「①とても感じる ②多少感じる」と答えた方

どのようなことに負担や問題点を感じますか（複数選択可）

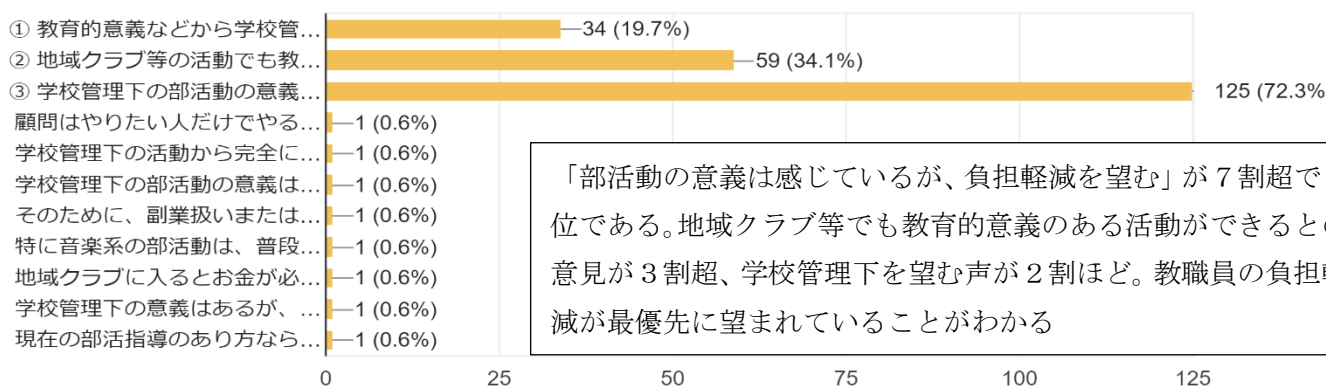
111 件の回答



「時間外労働になり通常業務の時間や自由時間が取れない」が7割超、「務が忙しくて部活指導ができない」が約7割、休日に休めないが5割、専門的な指導ができない、体力的にきついが4割超となっている。部活動に伴う生活指導、保護者からの要求もかなりの負担であることがわかる。

3. 学校管理下の部活動の意義や必要性についてどう考えますか（複数選択可）【必須】

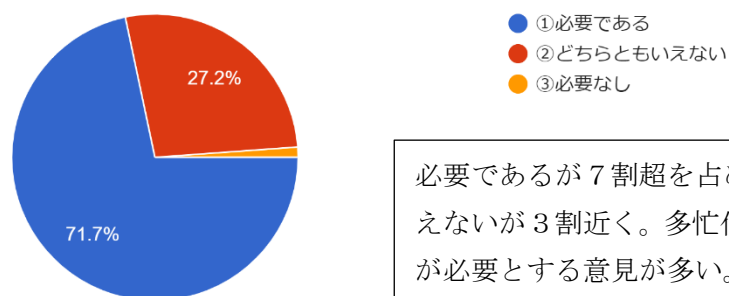
173 件の回答



「部活動の意義は感じているが、負担軽減を望む」が7割超で1位である。地域クラブ等でも教育的意義のある活動ができるとの意見が3割超、学校管理下を望む声が2割ほど。教職員の負担軽減が最優先に望まれていることがわかる

4. 学校部活動での外部（地域）指導員の活用は必要ですか 【必須】

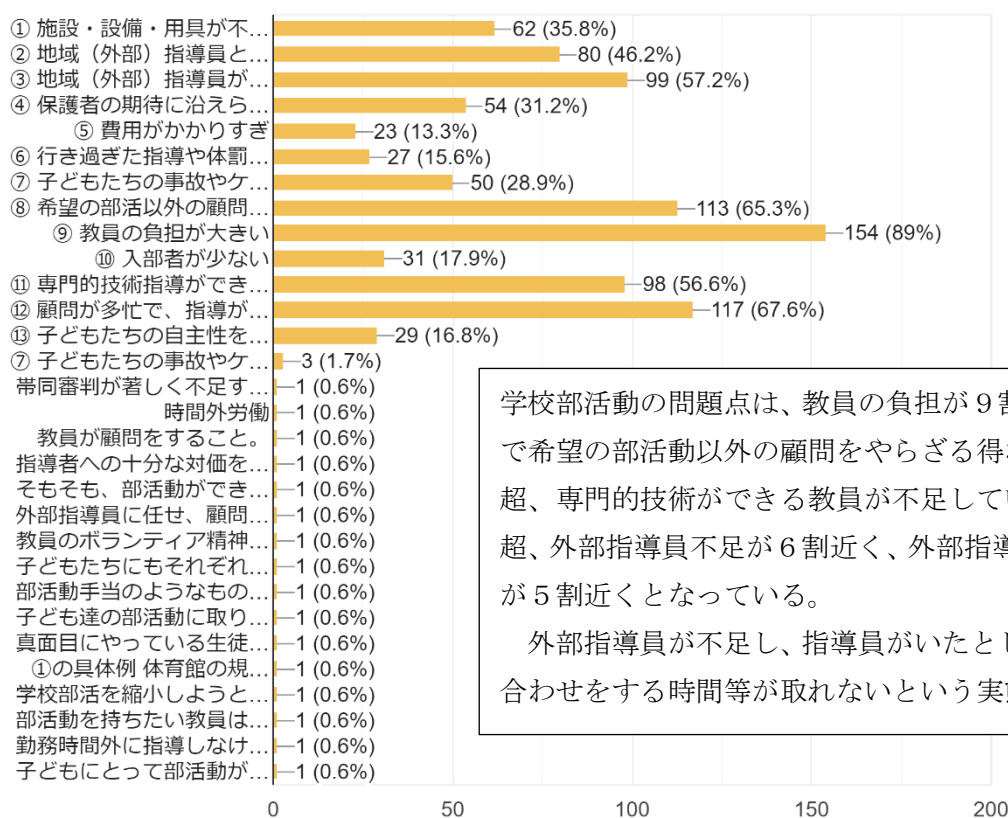
173 件の回答



必要であるが7割超を占めている。どちらともいえないが3割近く。多忙化解消には、外部指導員が必要とする意見が多い。

5. （勤務校とは限らず）学校部活動の問題点は何ですか（複数回答可） 【必須】

173 件の回答

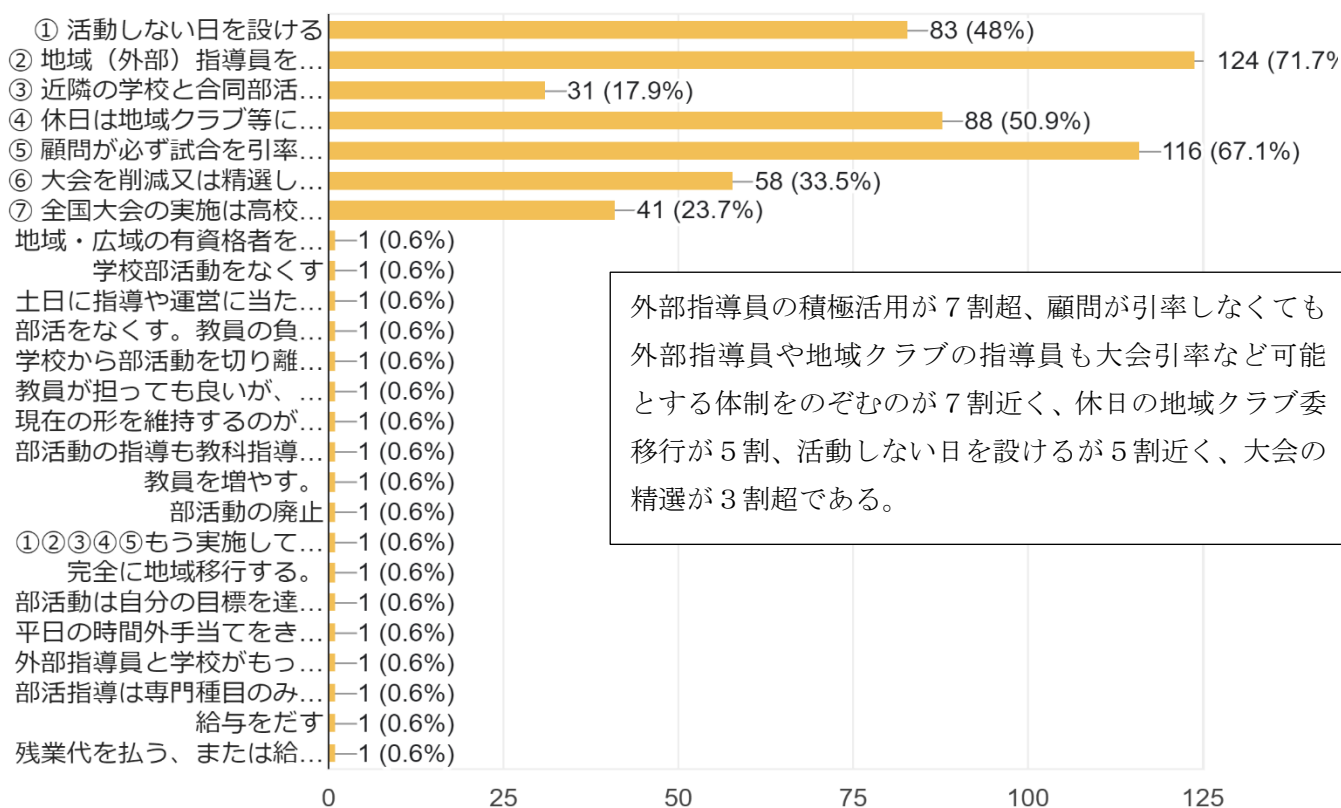


学校部活動の問題点は、教員の負担が9割近く、次いで希望の部活動以外の顧問をやらざる得ない、が6割超、専門的技術ができる教員が不足しているが5割超、外部指導員不足が6割近く、外部指導員との連携が5割近くとなっている。

外部指導員が不足し、指導員がいたとしても、打ち合わせをする時間等が取れないという実態が見える

6. 学校部活動の顧問の在り方や部活動の在り方について、どうすればよいと考えますか
 (複数回答可) 【必須】

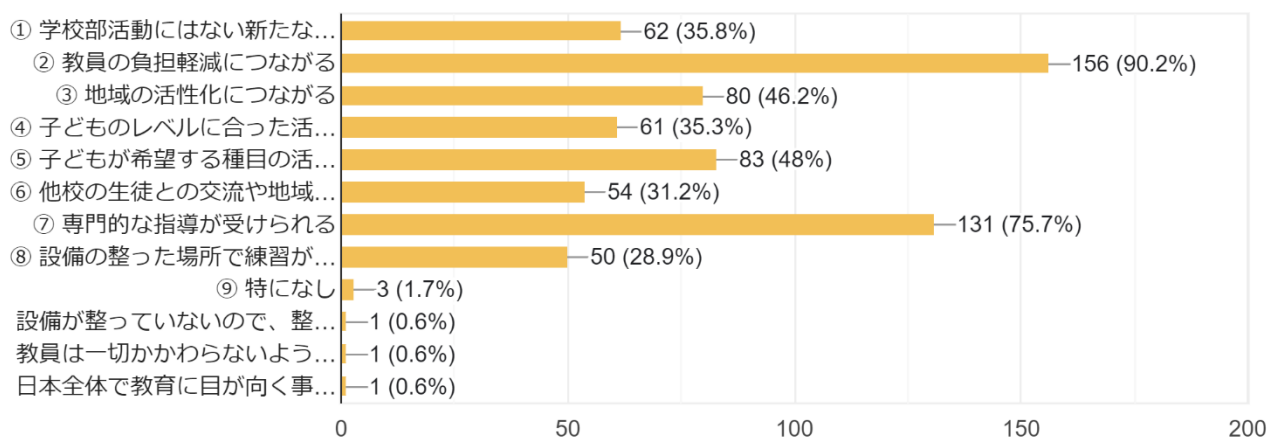
173 件の回答



外部指導員の積極活用が7割超、顧問が引率しなくても外部指導員や地域クラブの指導員も大会引率など可能とする体制をのぞむのが7割近く、休日の地域クラブ委移行が5割、活動しない日を設けるが5割近く、大会の精選が3割超である。

7. 学校部活動を地域クラブ等が担うことについて...と思われる点は何ですか(複数選択可) 【必須】

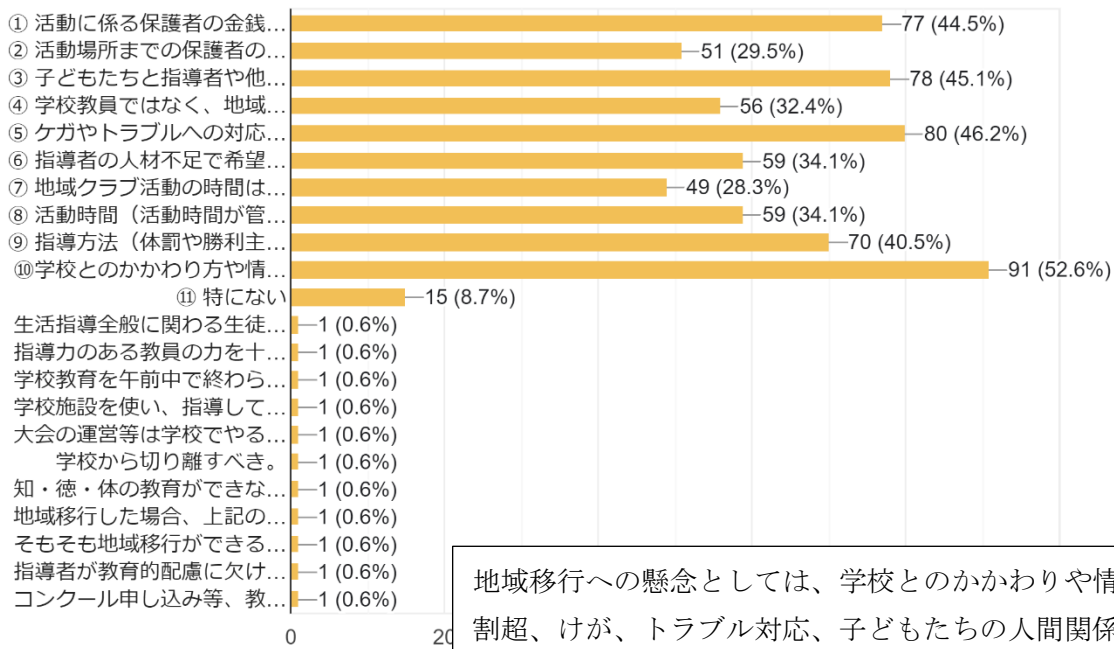
173 件の回答



「地域クラブが担うことで良いと思われる」ことの9割が、「教員負担軽減につながる」ことである。専門的指導が受けられるが7割超、子どもが希望する活動ができることを期待する声も5割近くある。

8. 学校部活動を地域移行することの際しての懸念はありますか（複数選択可） 【必須】

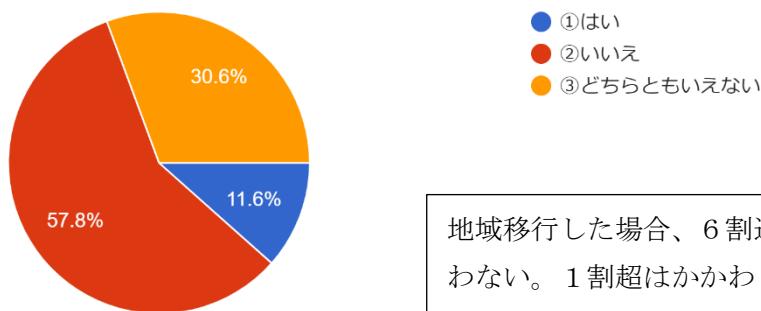
173件の回答



地域移行への懸念としては、学校とのかかわりや情報共有が5割超、けが、トラブル対応、子どもたちの人間関係、保護者の金銭的負担、指導方法（体罰など）が4割超、活動場所までの保護者負担、地域の人による指導すること、地域活動中に学校教職員とのかかわりがなくなるなど、3割超となっている。懸念は多岐にわたる。

9. 学校部活動を地域移行することになった場合...指導者として関わりたいと思いますか 【必須】

173件の回答

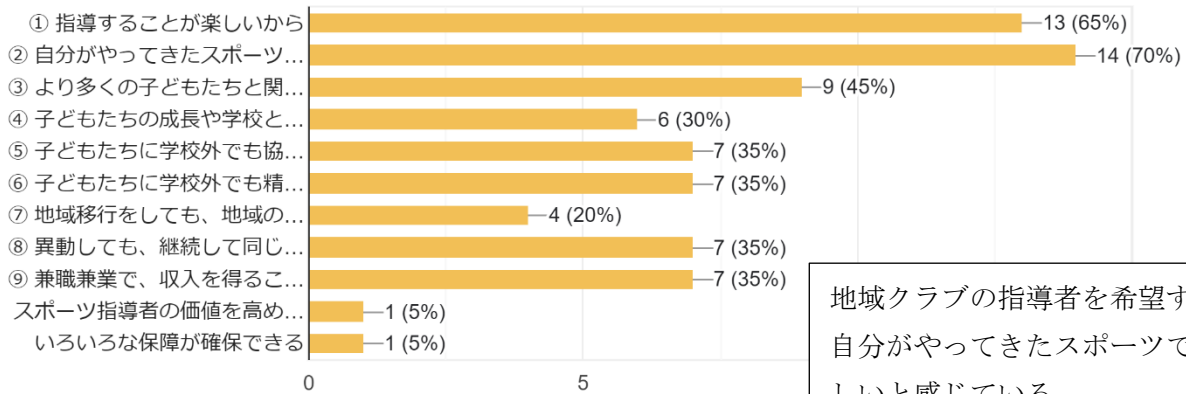


地域移行した場合、6割近くは関わりたいとは思わない。1割超はかかわりを望んでいる

10. 9の学校部活動を地域移行することになった場合、地域の指導者として関わりたいと思いますか、で ①「はい」と答えた方

ア. どのような理由で地域の指導者を希望しますか（複数選択可）

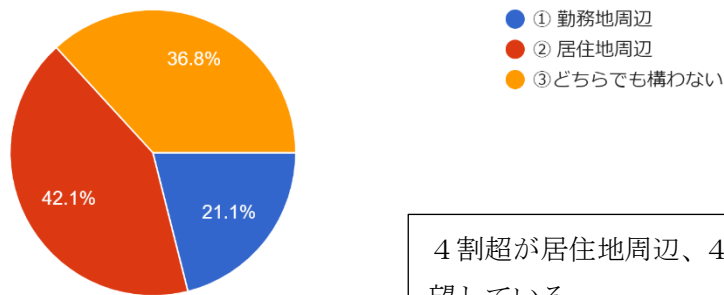
20件の回答



地域クラブの指導者を希望する人は、自分がやってきたスポーツであり、楽しいと感じている。

イ. 休日に地域で部活動の指導をする場合、どの場所での指導を希望しますか

19件の回答

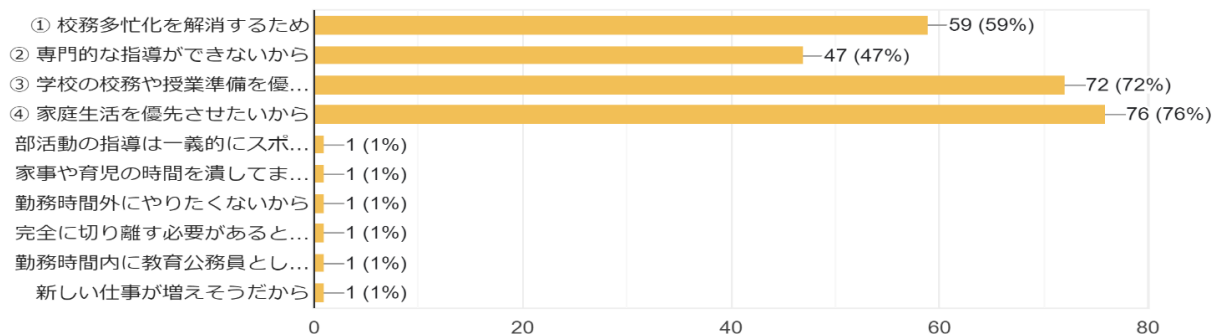


4割超が居住地周辺、4割近くが勤務地周辺を希望している。

11. 9の学校部活動を地域移行することになった場合、地域の指導者として関わりたいと思いますか、で「②いいえ」と答えた方へ。

その理由は何ですか（複数選択可）

100件の回答



希望しない家庭生活を優先させたいが8割近く、学校の校務、授業準備を優先させたいが7割超、多忙解消が6割近く、専門的指導ができないが5割近くとなっている。

自由意見

○40年にわたり運動部の顧問をしてきました。なんの専門知識もありません。部活動に意見を言うなら、せめて運動部の顧問をして、3年に一度でもいいから都大会に出してからにしてほしいと本当に思っています。ちなみに地域移行は国を挙げてということですが、かつて実施した自治体は尽く失敗しています。その原因は解明されているのが不安です。

○学校部活動は勤務時間外の活動が多くなるので、それなりの報酬を出すべき。出ないなら、廃止の方向に持っていきかかないと思う。教員は全員が全員の部活をやりたいわけではないように感じる。土日のみの地域移行は、平日と指導者が異なる点から子どもが混乱しそうなので、反対。きちっと設備と人を確保してから部活動の地域移行の話を進めてほしい。また、地域移行が果たされた場合は放課後に残れる生徒が少なくなるので、自治的活動や行事にも蹴寄せがくると思われる。子どもの活動や成長も含めて考えたら、学校部活動の継続とそれに見合った報酬を出す施策がよいと思う。また、中体連の組織の活動にも限界を感じる。大会運営の会議に出席する際は職免で、移動と会議の時間を合わせて9時間かかったこともあった。この間無償で活動している教員がいることも知ってほしい。

○教員が部活動の指導をする必要は全くないと思います。すべて地域に移行すべきです。教師の負担を軽減していかないと、なり手がどんどん減ってしまいます。

○朝練習を週4回行っているが、全て勤務時間外。通勤に時間がかかるので朝早く家を出るため、朝は我が子と関わる時間がない。家庭と心身に負担がかかっている。勤務時間外の部活指導をやりたいくなくても管理職からプレッシャーを与えられ、やらないわけにはいかない。ぜひ、地域の指導に移行してほしい。部活指導していると、ライフワークバランスがとれない。教育委員会には異動先を決める際、朝練習を入れた時間で勤務地を決めてほしい。

○外部指導員は教員ではないため、学校の様子をわかる人や、顧問と自分から連携を取ろうとする人でないと、任せるのは難しい。自分一人でやった方が楽なこともある。

○まずは教員の数を増やしてほしい

○地域移行も見送られました。教員の労働環境は永遠に守られることはなくなりました。このようなアンケートに感謝します。声をあげ続けるしかないですね…。

○やりたい顧問がいない部活は潰すべき。働き方改革をすすめてほしい。

○そもそも部活動自体過剰な勤務であり、人としての生活に大きな支障が出ているのは周知の事実です。これからの時代の働き方として即刻手放すべき業務だと思います。

○部活動を通じての生徒と教員の関係づくりは重要だと思います。ですが、教員の負担はかなりあるのですべて移行ではなく、連携していけたら良いと思います。

○昨年度末の人事の発表で、聞かされてない部活の副顧問が決まっていた。部活動は教員にとって本当に負担です。若手も疲弊しています。

地域移行に関する改革の情報を、社会や地域に向けてもっと発信し、この取り組みについて、社会全体の認知度を上げていきたい。社会や地域の認知度を上げて、地域が危機感をもってこの改革の推進に取り組むような状況にしていきたい。

○部活動の指導が正直、初任の時は負担でしかなかったです。区内で強豪校だったこともあり、他区市町村からも練習試合などの誘いがたくさんありました。当時は土日どちらも活動することが当たり前のような状態で本当に辛かったです。ぜひ、部活動指導についての問題にぜひ切り込んでいただければと思います。

○専門外の競技で顧問を担当になったときに、少し大変さを感じます。

○成熟し切った社会で、小さな変化ももちろん大切。しかし、抜本的な改革、特にシステムの見直しはすぐに行うべき。そこで躓くことは絶対にあるが、どうしても文科からの通達が出ないと動けない学校現場なので、上がもっと下を知って、改革していくべき。そうしないと良い人材が集まらない。良い人材がいないと良い未来はない。昔のようなスパルタで先生方を指導して叩き上げればそれなりに指導力をつけるが、今は大人もそんなことできない。なので良い人材が必要。そのために大幅なシステムの見直し、給料面の見直し、価値観の0スタート。みんなで良い学校現場にしたい。今まで行ってきた教育が間違っていたとは思わないが、少なからず今は変化が必要。もっとみんなで声をあげるべき。偉そうなこと言っすみません。

○教員の負担を軽減する方向で議論進めてほしい。

○部活動を一律に悪者にする傾向があるが、根本的に教師の負担は部活動ではなく、くだらない書類作成やクレーム対応、教師不足による仕事量の増加である。やりたくない先生は指導しなくてよい体制を整え、同時にやりがいを持って指導している先生が無用に迫害されず、自由な活動を保障されるシステムも必要である。

○保護者は、自分自身が中学校高校と部活動を体験していて良いものだという思い込みがある。そのような保護者が、部活動は教員がやって当たり前だと思っている。保護者は、教員の勤務時間や休憩時間を知らされていない。土日の部活手当3時間3000円も知らない。だから、教員がやることにひとつも疑問がない。4月当初の保護者会で校長から明確に伝えてほしい。その上で部活の指導を平日は、教員はサービスでやっていることをわかってほしい。

○私は今副顧問なのですが、私が主顧問ならば毎日16:45で部活終わりにしますけど…どの部活も16:45で終わりでいいと思います。2年前に本市に異動してきて、平日休みを必ず入れるや土日どちらか休みにするなどの部活ガイドラインがあつてないようなものです。もう、部活疲れしました。顧問持ちたくないです。でも、若い先生達が頑張っているのに少しでも力になりたいと思います。

○地域移行は、専門で指導できない顧問にとっては非常に助かると思う。部活動の指導を希望して行っている顧問とそうでない顧問の公平さを保てる待遇があれば、全員がもっと気持ちよく働けると思う。賃金や活動時間の見直しなど。

○用具はすべて個人になるのか？・学校で貸し出したものが破損したら？平日の部活と休日の部活はつながっているのか？

○地域移行にした場合、現在実施されている平日の放課後 3:00、4:00～6:00 の時間帯に毎日指導できる地域の指導者が確保できると思えないし、指導者謝礼の財源はどうするのか。種目によっては施設の確保がむずかしいのではないかと

○部活を実際受け持つ夫がいます。土曜は毎週いないのは淋しい一方で、自分がやってきた吹奏楽に関わっている時間は楽しんでいきます。だから絶対全部地域移行してほしいとは思わないけれど、部の活動日数によって、持ち時数の調整はあっていいのかなと思います

○地域移行の予算はどこからくるのか、この5年間でということになっているが、現場では具体性が全くない。教員の負担増で学校のブラック化が加速している。早く移行してもらいたい。また、教員でもやりたい方もいるので、時給を払うべき

○ボランティアとは言え、半ば強制的に顧問を持たなければいけないこの状況を大きく変える必要あり。部活を見たい教員が見るのは大いにありだと思いが、そうではなく活々やっている人が多数である。実際、家族との時間が少なくなり、土日はさびしい思いをさせてしまっている。一刻も早く学校と部活動を切り離し、クラブチームとしての活動に移行してほしい

○部活をほぼ強制的に持たされる ・部活のあり方について現場の教員の意見は聞き入れてもらえない現状

授業中や休み時間、なぜか登下校中や地域トラブル等、きめ細かい聞きとりや指導、保護者対応を求められるのに、学校部活動での指導やトラブル対応まではもはや無理です

○部活動ではなく地域のクラブ活動のみにすべきである。

○地域への移行について長年議論しているが、進歩が見られない。また、単純に地域への移行をすることは不可能に近く、平日の昼間に指導できる人材が各地域にあるのか疑問である。部活動は廃止し、地域クラブとして経営したい教員や地域住民などがいればよいが、基本的に地域に任せべきものである。家庭や地域が担うべき教育的役割を、現在は全て学校が担うべきだという傾向があり、懸念すべき事態である。学校が本来担うべき役割を取り戻すことを、今考える必要があり、毅然とした態度を示すべきである。

○早急に部活動の見直しをお願いしたい

○部活動だと、入部後に活動に参加しない生徒も出てくる。海外のように、適性検査を行い、部活動が生徒を選べるようにすると良い

○現在の学校では過度の負担とまでは言えないが、次の学校に異動した際、過度に求められる可能性があり心配

○部活動の「ブラック」な面がクローズアップされていますが、教員は部活動を通して生徒と互いの信頼関係を作っていくことができるものと思います。生活指導や学習活動とリンクさせながら指導できます。部活動はその種目や競技の技術指導ではなく、「人間育成」という教育活動です(もちろん、手当てや振休の見直しはしていただきたいが、教員がやる方が良いと思います)

○正直、難しい問題だと思います。課外活動を通して培われる事柄は多数あると思いますが教員の負担は大きい。無償で指導。休日(演奏会等での出勤)の替休もない場合が多く連動があたりまえ。小学校音楽専科はそうやって体を壊していきます。私もその1人で病気になるかと思っています

○現状でよいと思います。あえてつけくわえるならば教員のなかの、部活動を中心にして生活している人を排除するだけでよいと思います

○モデル事業が進んでいるが、学校部活動ほどの頻度・場所の手軽さがなく、結局学校部活動は残るのでは...と思っている。また、生徒が地域クラブを選択するのがわからない。学校と地域の垣根をなくす下地なくしてから進めることが求められると思っている。

○部活動の問題点は、教育公務員たる我々教職員が、勤務時間に教育活動へ専念できないため、全体の奉仕者としての責務を果たしていないことにあります。

○学校の部活動はスポーツ権を保証する場ではないです。

○部活の顧問は、負担でしかない。一刻も早く顧問廃止すべき。エントリーを失敗すれば責任を感じるし責められる 会計も億劫。現金のやり取りで盗難の危険性もある。文化部長顧問と運動部長顧問の働き方の差が激しいから、いがみ合いになる 面倒な部活若手に押し付けようとする傾向がある 部活をやるために教員になった人が少ない上に部活至上主義な人が多く、部活ばかりで仕事しない

○最近の教育改革によくあることですが、現場の意見がほとんど入れられず、決定した状態で学校に伝えられるので、実際混乱するのは学校であり、教員であるという実態が問題だと考えます。また管理職に聞いてもよく把握しておらず、さらにわからないにもかかわらず、文科省や教委を擁護する発言をしなくてはならない構造にも問題があると思います。この部活動問題もその縮図と思わざるを得ません。個人的には教員ができることを生徒に教える部活動は好きです

○中学校は部活動なしで生徒指導ができるのか ・地域移行したら所属しない児童・生徒が増えると思う ・地域移行するといっても人材の確保は難しいと思う

○部活を教員が担当しないデメリットも大きいと思う。部活を通しての人間関係は大きいから。子供にとって学校でできる部活は大切であるが、教員の負担が大きすぎる。決められた時間の中での活動が大切で、時間オーバーにならないようにする。

○活動日数を減らすこと。自分は文化部で週2日活動しているが、できれば週1日にしたい。ただ生徒の希望、保護者の希望を考えるとムリ。また顧問も実質1人で指導していてそれもきつい

残業ありきの業務は不適切だと思います。外部で専門的に指導を受けることの方が子供にとってもメリットがあります。休日の部活指導が嫌で教員になりたくないと話している大学生がいました。教員不足解消にもつながるのではないのでしょうか。

○システムの構築は進んでいるが、実際に指導する人材が不足しているように感じる ・現存のクラブチームと、部活動の地域移行との区別がわからない ・専門外の教員が顧問をしている部が多いが、外部人材を活用できていないチームが少ない。教員自身のツテだけで、

放課後(16:00~18:00くらい)を見てくれる人はなかなか探すことができない・定時外の勤務に給料が支払われない。ほぼ全ての部活動顧問は、平日は無給で指導に当たっている

○地域への移行は賛成ですが、それにより金銭の負担が増え、参加できない子どもが増えてしまわないかが心配です。公的な機関で行う意味は、どの子どもも参加できることにあります

現実的などころ、来年度から地域移行ができるのか。人材不足もあり、実際のところ、詳細が学校現場で理解できていないところもあるので、十分な説明が必要

○そもそも部活は教員の職務ではないとされているのに、お願いという形で半ば強制されているのが、そもそも異常です。

○部活動は負担であるが教育的意義が大きい。しかし、教師のボランティアの側面が強く出ている費用と時間の面や、子どもがいる家庭からすると「自分の子どもの面倒を見るよりも他人の子の指導を優先するのか。」という気持ちの面もあり反対されるのが現状である。時間の問題、お金の問題、気持ちの問題は顧問だけでなく、部員側にもあることがこの問題をより複雑にしていると思う。顧問を拒否することはできるが、校内で代替りの先生が顧問になる現実を見ると地域移行もよく似ており、結局は成り手をたらい回しにしているだけである。私の感想としては、いずれまた学校に戻って来るとしても、ここは思い切って一度学校から切り離す必要があると思う。出なければこの状態はずっと続くと思う。

○双方にメリット、デメリットがある為、なんとも言えません。

○部活動は、大変な部分もあるが、生徒と共に過ごす中で教育的意義は大きいと思う。地域移行に反対ではないが、上手く活用出来るかどうか分からない。

○学校に求めるばかりの状況を変えていかないと教員のワークライフバランスはいつまでも改善しないと思われる。東京都内はグラウンドも狭く、子どもの数が少ない地域もあり、時代によって状況は変化している。民間企業が普通に考えるような、皆が満足する方向での施策を都・国から打ち出してほしいと切に思います

○先生に時間的ゆとりがあれば部活の地域移行問題も起きなかった。地域の人にどれだけの指導力があるか基準はないのか、見切り発車の感がある。失敗しないか心配である

○外部講師の存在は教員の負担を減らすのではなく、質の向上になっている現状。助かっているが仕事量は変動なし。現在は子育ての時間が必要なため、なかなか部活動を指導する時間がとれず、顧問の先生にまかせているところが大きいのは事実ですが、子育てが落ち着いたら、部活動を通して子ども達と関わる機会があるのは教員としても必要だと思っています

○部活指導があると分かっていて中高の教員になっているのに、その部活をやりたくないだの邪魔だの言っている教員は、今すぐ辞めて講師か違う職種に就くといい。部活をやりたくて教員を志した人もいるので、やりたい人はやれるシステムを望みます

○地域移行をするにしても、しなくても、大切なのは「やりたい」と思う子どもの気持ちを大切にすることだと思う。同じく「やりたい」と思って部活の指導をしている教員への手当等をきちんとすべき

○学校部活動の地域移行は、現実的に難しいと思います。学校部活は存続する形で、顧問については希望を尊重し、平日の指導に対しても手当を支給するようにする

○運動部や文化部の休日の活動は、学校部活動から地域クラブへと移行していくのが望ましい。そのため、現在の学校の施設を利用し、さらなる充実を図ること、指導員の確保と研修を進めること、生徒が選択できる多様な活動を保証すること、交通費や活動費などの保護者負担を増やさないと、指導の内容や生徒の活動の様子などの情報を学校と共有すること、これらのことをいくつかの自治体が先行的に施行し、検証を行いながら進めてほしい

○都や区が主催した大会しか給料がもらえない、出ないのは苦しい

○ブラック待遇の教育現場にもようやく少しずつ改善のきざしが見え始めてきたのだと思う。部活の件に限らず、生活指導上の問題点(保護者対応を含めて)、超勤問題(過労死レベルの超勤時間と残業手当なし、等)。これを機に、教育に金をかけない国の方針が少しでも改善されていけば

○大会、試合、コンクールで教員が関わる部分があるため、全て任せることができない・学校と地域だけの問題ではない所も整備できるとよい

○現在の学校において部活動をしたことによるメリット(生徒理解及び把握等)とデメリット(時間をとられる生徒保護者への対応(トラブル)を考えるとデメリットの方が大きいように感じる。教員が担わなくて済むならその方が断然良い